

## 県内ニュース

### 主要

ツイート 8 いいね! 0 シェア 0 気になる 0

## 金子さん県内唯一採用 「福島発」再生エネ研究 産総研新支援制度で郡山の施設に

産業技術総合研究所（産総研）が研究プロジェクトに従事する大学院生を今年度から新たに雇用する「リサーチアシスタント制度」で、福島大大学院共生システム理工学研究科の金子翔平さん（23）＝福島市＝が郡山市の福島再生可能エネルギー研究所に県内で唯一、採用された。再生可能エネルギー分野の一翼を担う決意を新たにしている。

新制度は若い人材の育成が目的で、福島再生可能エネルギー研究所の採用は金子さんを含め9人。

金子さんは秋田県三種町出身。今春、福島大を卒業し、大学院に進んだ。大学1年時に東日本大震災と東京電力福島第一原発事故を経験し、再生可能エネルギー分野への興味が高まった。産総研では、地中熱を会津地方の融雪に役立てる研究に取り組む。会津盆地の地下水の流れや温度を調査し、有効活用できる地中熱がどこにあるかを解明する。

「原発事故当時は学生生活や将来に不安が募ったが、震災から学んだことも多く、福島に来て良かった。研究で福島のために役に立ちたい」と将来を描く。指導教官の内田洋平産総研福島再生可能エネルギー研究所地中熱チーム研究チーム長（47）は

「福島を代表するプロの地中熱研究者に育ててほしい」と期待している。



福島再生可能エネルギー研究所の新制度に採用された金子さん



福島再生可能エネルギー研究所での研究活動をスタートさせた寺沢さん（左）と小坂さん